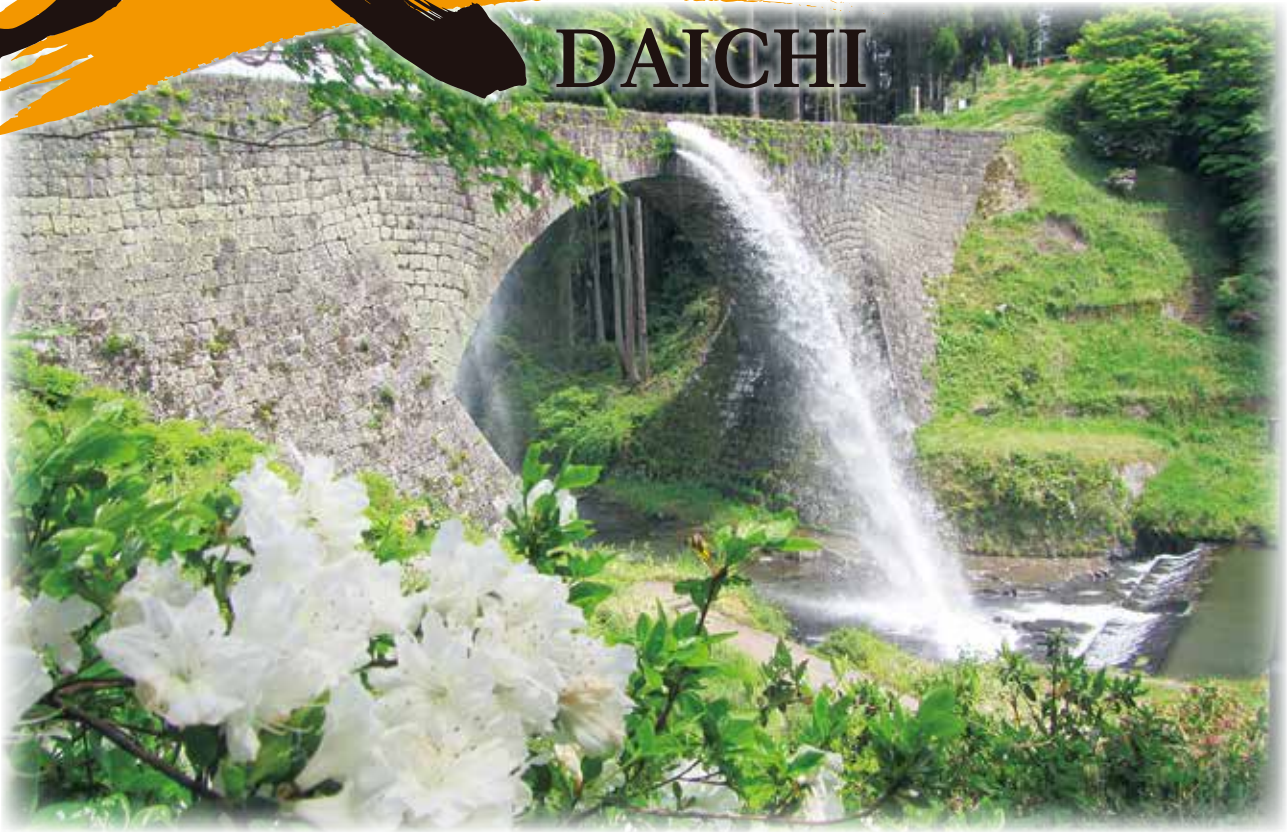


大地

Vol.71

R3 新年度号

DAICHI



熊本県山都町 国指定重要文化財の「通潤橋」

熊本地震で被災した「通潤橋」の保存修理工事が完了し、約4年振りの2020年に記念放水が行われました。「通潤橋」は、石型アーチ橋のなかで、唯一“放水”ができる橋です。約160年前に建築された「通潤橋」は今もなお、白糸台地の約100haの水田を潤し続けている現役の農業用施設です。

Contents

ACTION

- 新年度 ご挨拶
熊本県土地改良事業団体連合会 会長 荒木 泰臣…………… 1
- 第17期(平成31年4月～令和5年3月末日) 役員名簿…………… 1
- 新年度 ご挨拶
熊本県農林水産部 部長 竹内 信義…………… 2
熊本県農林水産部農村振興局 局長 渡邊 昌明…………… 2
- 第64回通常総会を開催…………… 3
- 土地改良功績者、永年勤続者表彰の方々をご紹介…………… 3
- 熊本県知事・熊本県議会議長及び副議長への表敬訪問…………… 4
- 令和2年度「全国土地改良事業功績者」「第62回全国土地改良功労者」
「農業農村整備優良地区コンクール」表彰状伝達式を開催…………… 5
- 村上義博熊本市南土地改良区理事長(本会理事)が
「旭日単光章」を受章…………… 5

INFORMATION

- 技術力向上への取組み…………… 6
・令和2年度資格取得者
・本会の資格取得一覧
- 熊本県ため池サポートセンターについて…………… 6
- 熊本県からの情報提供 令和3年度熊本県予算について…………… 7
- 令和3年度 熊本県農林水産部の新体制…………… 8
- 令和3年度 熊本県土地改良事業団体連合会
幹部職員、新規採用職員のご紹介…………… 9
- 令和3年度 熊本県土地改良事業団体連合会
職員配置表…………… 10
- 非補助農業基盤整備資金のご案内 ほか…………… 11



水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)

●新年度 ご挨拶

熊本県土地改良事業団体連合会 会長 荒木 泰臣



熊本県土地改良事業団体連合会
会長 荒木 泰臣

初夏の候、会員並びに関係者の皆様方におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より農業農村整備事業の推進に御尽力をいただくとともに、本会の業務運営に特段の御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、令和2年7月豪雨災害が発災し、特に人吉・球磨地域並びに芦北地域に甚大な被害をもたらしました。継続して被災地の復旧・復興に御尽力されている行政機関、土地改良区関係者の皆様方に改めまして深く敬意を表します。本会としても、被災された地域が一日でも早く復旧・復興を遂げられますよう、会員の皆様と共に災害復旧支援に尽力して参る所存です。本年もまた梅雨の季節を迎えます。昨年のような悲惨な災害が発生しないことを切に願っております。

さて、本県の農業農村は、中山間地域を多く抱え、農村の過疎化、農業従事者の減少・高齢化を背景とした生産現場における労働力不足や農村集落機能の低下に加え、大規模自然災害の頻発化や新型コロナウイルス感染症の甚大な影響など、様々な課題に直面しております。このような中、国ではこの3月に、令和3年度から令和7年度までの新たな「土地改良長期計画」を閣議決定しました。

長期計画では、農業の成長産業化を実現するために、担い手への農地集積・集約化やスマート農業の推進により農業競争力の強化を図るとともに、高収益作物への転換の推進などにより産地収益力を強化するとしています。

また、農業・農村の強靱化のために、防災重点農業用ため池に係る防災対策や田んぼダムの推進を計画的に進めるとともに新技術を活用した農業水利施設の戦略的な保全管理を推進するとしています。

水土里ネット熊本といたしましても、熊本県が掲げる「稼げる農業と緑（水土里）豊かな農村の実現」に向け、農業農村整備事業の推進や必要予算の確保に、組織を挙げて積極的に取り組むとともに、6月1日から本会に開設する予定の「熊本県ため池保全サポートセンター」では、県・市町と緊密に連携しながら、ため池管理者からの相談対応、点検・パトロールを踏まえた技術指導・助言など、適正な管理を支援します。また、改正土地改良法に伴う土地改良区の運営基盤の強化においては、巡回指導等を通じ会員の皆様と共に円滑な推進に努めるなど、各種施策に役職員一丸となってしっかりと取り組んで参りますので、会員各位並びに関係機関の皆様方の更なる御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本県の農業・農村の更なる発展のために、役職員一同、一層精進してまいりますので、今後とも御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝と御活躍、そして新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を心から御祈念申し上げ挨拶いたします。

●第17期(平成31年4月～令和5年3月) 役員名簿

(令和3年3月19日第64回通常総会補欠選任)
令和3年4月1日

監事	(新) 監事	総括監事	(新) 理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	(新) 理事	理事	理事	理事	(新) 常務理事	(新) 副会長	副会長	会長
岡村 文明 (百太郎溝土地改良区理事長)	北野 安正 (熊本平野南部土地改良区理事長)	吉良 清一 (南阿蘇村長)	中村 三千人 (小宮地新田地区土地改良区理事長)	森本 完一 (錦町長)	竹崎 一成 (芦北町長)	藤本 一臣 (永川町長)	本田 二男 (阿蘇土地改良区理事長)	古庄 廣美 (泗水町土地改良区理事長)	後藤 三雄 (菊陽町長)	早田 順一 (山鹿市長)	中逸 博光 (長洲町長)	新野 真司 (三角町土地改良区理事長)	村上 義博 (熊本市南土地改良区理事長)	久保田 修 (学識経験者)	元松 茂樹 (宇土市長)	坂田 孝志 (八代平野北部土地改良区理事長)	荒木 泰臣 (嘉島町長)

●新年度 ご挨拶

熊本県農林水産部 部長 竹内 信義

水土里ネットの皆様におかれましては、日頃より本県農業施策の推進に際し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年7月の豪雨災害では、県南地域を中心に農林水産業関係においても甚大な被害が発生いたしました。被害に遭われた方々にはあらためてお見舞いを申し上げます。

皆様には、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期したうえで、発災直後から率先して応急復旧等にご対応いただくとともに、現地調査や災害査定への支援など、復旧・復興への足掛かりとなる取組みを積極的に進めていただき、厚く御礼申し上げます。

県では、昨年11月に「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定しました。これに基づき、令和5年度末までの農業生産基盤の復旧完了を目指し、誰一人取り残さないよう創造的復興に全力で取り組んでいるところです。

また、本年2月には「熊本県食料・農業・農村基本計画」を策定し、未来につながる魅力あふれる「くまもと農業」の実現に向けた取組みもしっかりと進めていくこととしております。この計画では、災害からの復旧・復興や、新型コロナウイルス感染症などに対応した農業・農村の実現と併せ、「時代の変化に対応した稼げるくまもと農業の実現」を柱の一つに掲げ、農地の大区画化や汎用化などの基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化、排水機場やため池、海岸保全施設など防災・減災インフラの整備・保全管理、スマート農業やDX等による生産性や品質の向上等に取り組むこととしています。

さらに、二つ目の柱として「中山間地域等における魅力と活力があふれる持続可能な農村づくり」を掲げ、農業・農村の多面的機能の維持・発揮や、スーパー中山間地域の創生、鳥獣被害防止対策等に取り組むこととしています。

これらの施策の推進には、地域農業に精通している水土里ネットの皆様のお力添えが不可欠です。これからも皆様とともに、地域の方々の声に耳を傾けながら、本県農業を支える生産基盤づくりに真摯に取り組んで参りますので、ご支援・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



熊本県農林水産部
部長 竹内 信義

●新年度 ご挨拶

熊本県農林水産部農村振興局 局長 渡邊 昌明

水土里ネットの皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年7月の豪雨災害では、農地・農業用施設についても、平成28年の熊本地震及び豪雨災害に次ぐ約406億円の被害が発生しました。

皆様には、被災した農地や農業用施設の応急復旧などに率先して取り組んでいただくとともに、本格的な復旧に向けた現地調査や災害査定への取組み、さらには全国各地の水土里ネットからの応援など、組織一丸となった復旧・復興へのご尽力に厚く御礼申し上げます。

今後の復旧・復興の加速化に向け、必要となる計画変更や地元調整などに対するご支援・ご協力をいただくとともに、今回の豪雨や熊本地震などの経験を踏まえた情報発信や災害対応力の強化、更には水田の貯留機能を活用した「田んぼダム」の普及等にも積極的に取り組んで頂きますようよろしくお願いいたします。

また、農地の区画整理や農業水利施設の整備などの農業農村整備事業についても、着実に推進する必要があります。県では、令和5年度までに担い手への集積率8割を目指し、今年度着手する菊池平野地区(665ha)や、国宮宇城地区(777ha)など広域的な基盤整備に取り組むとともに、これを契機とした農地集積を積極的に推進します。

さらに、国土強靱化や高収益作物の導入等に資する排水機場の計画的な更新整備や、防災重点農業用ため池対策、農業水利施設の適切な維持管理に向けた土地改良区への支援等を強化して参ります。

特にため池については今年度、関係法令等に基づき、皆様と連携し、管理適正化に向けたサポート体制を構築する予定です。

本県農業を今後さらに発展させるためには、これらの施策に加え、スマート農業やDXなど、新たな視点での取組みが必要です。皆様のアイデアやチャレンジを全力でサポートし、農業農村整備事業の効率化につなげて参りたいと考えておりますので、引き続き、くまもとの「稼げる農業と緑(水土里)豊かな農村の実現」に向けて、お力添えをいただきますようお願いいたします。



熊本県農林水産部農村振興局
局長 渡邊 昌明

●第64回通常総会を開催

令和3年3月19日（金）、熊本市のメルパルク熊本において「熊本県土地改良事業団体連合会第64回通常総会」を開催しました。

今回の総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員130団体のうち会場には59団体の皆様に出席頂き、71団体の皆様には書面でのご協力を頂きました。このことにより全会員出席となりました。

総会は、坂田孝志副会長（八代平野北部土地改良区理事長）の開会の辞に始まり、主催者を代表し荒木泰臣会長（嘉島町長）から、県下の農業農村整備事業の推進と積極的な取り組みへの謝辞及び敬意を表されました。また、土地改良功績者表彰及び永年勤続者表彰式では、土地改良への永年にわたるご功績を称え、関係者へ表彰状の授与と記念品を贈呈されました。



坂田孝志副会長
開会の辞

ご来賓として、宮崎雅夫参議院議員、澤岡昌樹九州農政局次長、田嶋徹熊本県副知事、末松直洋熊本県議会農林水産常任委員長にご臨席頂き、ご祝辞を賜りました。また、進藤金日子参議院議員からは、ビデオメッセージにてご祝辞を賜りました。そのほか、九州農政局中村土地改良管理課長並びに熊本県から久保田農村振興局長をはじめ幹部職員の皆様にもご臨席いただきました。



荒木泰臣会長
挨拶



宮崎雅夫参議院議員
祝辞



澤岡昌樹次長
祝辞



田嶋徹副知事
祝辞



末松直洋常任委員長
祝辞



進藤金日子参議院議員
ビデオメッセージ

提案しました議案審議のため、玉名平野土地改良区理事長高野哲哉様を議長に選任し議案の審議を行い、全議案とも賛成多数で原案通り可決、承認されました。

また、要請・要望活動に活用する決議文（案）につきましては、永年勤続15年の受賞者で玉名平野土地改良区の米谷美由紀様、立嶋寿代様から読み上げて頂き、満場一致でご承認を頂きました。最後に、竹崎一成理事（芦北町長）の閉会の辞で総会は滞りなく終了しました。



決議文
玉名平野土地改良区
立嶋寿代様、米谷美由紀様



竹崎一成理事
閉会の辞

●第64回通常総会において、土地改良功績者、永年勤続者表彰がおこなわれました。

●土地改良功績者（1団体2個人）（敬称略）

●団体の部

ひとよし土地改良区

●個人の部

野々口 秀信（麻生原堰土地改良区）

倉田 明（苓北町土地改良区）

兼田 美保（錦町土地改良区）

市田 秀樹（百太郎溝土地改良区）

●永年勤続15年

米谷 美由紀（玉名市土地改良区）

立嶋 寿代（玉名市土地改良区）

三宅 伸也（中球磨土地改良区）

●永年勤続者（12名）（敬称略）

●永年勤続35年

船田 哲治（氷川土地改良区）

●永年勤続30年

荒井 浩（植木町土地改良区）

伊藤 英二（宇土八水土地改良区）

山田 正美（八代平野北部土地改良区）

●永年勤続25年

田中 栄二（八代平野北部土地改良区）

●永年勤続20年

竹中 宏豊（秋津飯野土地改良区）

上村 好生（川辺川総合土地改良区）



後列左より 兼田様、荒井様、市田様、上村様、山田様、船田様、三宅様
前列左より 立嶋様、米谷様、坂田副会長、荒木会長、高野様、野々口様、倉田様

●熊本県知事・熊本県議会議長及び副議長への表敬訪問

令和3年2月12日（金）、水土里ネット熊本（荒木会長はじめ役員16名）は、蒲島熊本県知事、池田熊本県議会議長及び洲上副議長に表敬訪問を行いました。

蒲島熊本県知事への表敬訪問では、荒木会長より農業農村整備事業の推進並びに予算措置に対する感謝とお礼を述べられた後、「熊本県と本会が一体となって、熊本の『農業・農村の復興』、『防災・減災、国土強靱化』のため、市町村・土地改良区への支援体制を一層強化し、熊本県の農業の更なる発展に努めて参る。」と挨拶されました。

蒲島知事からは、「熊本地震と新型コロナウイルス、令和2年7月豪雨災害と県政はまさにトリプルパンチに見舞われている。今後県では、球磨川流域の治水対策として、人吉・球磨地域における『田んぼダム』に取り組む予定。その理解が得られたのも、この地域で長い間取り組まれてきた水管理がまさに緑の流域治水そのものがあるからこそ。水土里ネットの皆様には、今後も農業生産の礎となる、農業水利施設の適切な維持・管理、並びに『田んぼダム』の推進にご協力いただきたい。この熊本の農業という豊かな恵みを幾代にも渡り享受し、大切な故郷を守っていくという思いを皆さんと共有しながら、今後も県政の課題と一緒に取り組んでいきたい。」と述べられました。また、本会が持参したポスターへの感想として「被災地を視察する中で、百太郎溝旧樋門を訪れた。300年以上も地域のシンボルとして今なお立ち続けるその姿に感銘を受けた。」と述べられました。



持参した「ポスター」と共に記念撮影

後列左より 河地事業部長、岩本換地・測量課長、米村事務局長、森本理事、藤本理事、竹崎理事、元松理事、吉良総括監事、古庄理事、中逸理事、山本監事、本田理事、新野理事、村上理事、岡村監事、小柳常務理事
前列左より 竹内農林水産部長、坂田副会長、蒲島知事、荒木会長、中嶋副会長



水土里ネットの取り組みに発言される蒲島知事



熊本の水土里ネットポスター Vol.9

地域の農業を下支えしてきた「百太郎溝取入口旧樋門」のように、これからも、水土里ネットは歩みを止めず、強い絆でこうした資産を守り未来に繋げ、熊本の農業・農村と食文化の下支えであり続けるという決意を表現したポスターを作成し、県、市町村、土地改良区に配布しました。



蒲島県知事(右)へ荒木会長から活動報告書を手交



池田議長(右)並びに洲上副議長(左)へ荒木会長(中央)から活動報告書を手交

池田県議会議長・洲上副議長への表敬訪問では、荒木会長より県議会の農業・農村の振興に対する格別なるご高配を賜っていることへの謝辞のあと、令和2年7月豪雨災害による被災地への強力な支援のお願いされると共に、「本会の会員支援体制を一層強化し、県農業の更なる発展に努めて参る。」と挨拶されました。

池田議長からは、農業農村整備の振興並びに豪雨災害対応への謝辞のほか、「本日の報告で改めて水土里ネットの持つ役を再確認できた。県議会としても基盤整備が必要で、将来を見据えて取り組むべき重要な事項と認識している。今後も積極的に事業を推進していく。」と述べられました。

●令和2年度「全国土地改良事業功績者」「第62回全国土地改良功労者」「農業農村整備優良地区コンクール」表彰状伝達式を開催

令和3年4月23日(金)、熊本市のメルパルク熊本において、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった全国土地改良大会並びに全土連主催の表彰式に代わる式典として、熊本県土地改良事業団体連合会主催による令和2年度「全国土地改良事業功績者」「第62回全国土地改良功労者」「農業農村整備優良地区コンクール」の表彰状伝達式を開催致しました。熊本県からは以下の方々を受賞されました。

(受賞されました方々の肩書については、受賞時としております。)

●全国土地改良事業功績者表彰 全土連会長表彰 個人表彰

- ・故 本田 健二 様 (宇土八水土地改良区前理事長)

●全国土地改良功労者表彰 全土連会長表彰

- ・団体 内田川地区土地改良区 様
- ・役員 岡 牧生 様 (高田堰掛土地改良区 理事長) ・役員 小柳 倫太郎 様 (熊本県土地改良事業団体連合会 常務理事)
- ・職員 中島 信子 様 (豊田土地改良区 事務局長) ・職員 岩本 順次 様 (熊本県土地改良事業団体連合会 換地・測量課長)

●農業農村整備優良地区コンクール

- ・農村振興局長賞 (中山間地域等振興部門) 岳間地区 (岳間地区活性化協議会)



受賞者と共に記念撮影

後列左より 米村事務局長、小柳倫太郎様(役員表彰)、中島信子様(職員表彰)、岩本順次様(職員表彰)、本田隆一様(優良地区コンクール)
前列左より 久保田常務理事、岡牧生様(役員表彰)、北野安正様(故本田前理事長代理個人表彰)、小林博臣様(団体表彰)、鬼塚睦夫様(優良地区コンクール)、荒木会長



荒木会長挨拶



荒木会長より受賞者に表彰状を伝達

●村上義博 熊本市南土地改良区理事長(本会理事)が「旭日単光章」を受章

熊本市南土地改良区理事長であり本会理事でもある村上義博氏は長年の土地改良事業におけるご功績が認められ、令和3年4月29日、「旭日単光章」を受章されました。

村上氏は地域農業発展のため、排水対策特別事業や農地整備事業など、多くの土地改良事業を積極的に推進されました。これら事業により、農地の汎用化と大型機械による営農体系が確立されたことで、営農条件が格段に向上し農家の経営安定が図られ、地域の農業振興に大きく貢献されました。また、子供達や担い手農家を通じて広く地域の人々に土地改良区役を理解してもらえるよう学習会や水利用施設の見学会等を行い、土地改良区が身近な存在として地域に認知されるよう尽力されました。加えて、周辺土地改良区との合併も進められ、広域化による運営基盤の強化と合理化による安定経営に貢献されました。

村上氏は「このような旭日単光章の叙勲をいただき、身に余る光栄と存じます。これも水土里ネットをはじめ関係の方々のご指導とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。」と感謝の言葉を述べられました。

この度の受章、誠にありがとうございます。



村上義博
熊本市南土地改良区理事長

INFORMATION

技術力向上への取組み

本会では、下記の一覧表に記載されている資格を取得し、技術力の向上に努めています。
令和2年度に実施された資格試験において、本会からは下記の職員が合格しました。

●令和2年度資格取得者

- ◆土地改良換地士 築田 謙司（換地・測量課） 長谷野 勝也（換地・測量課）
- ◆農業土木技術管理士 上田 真司（施設管理課）
- ◆技術士補 尾下 拳輔（会員支援課）
- ◆測量士補 佐藤 温紘（菊池・阿蘇支所）
- ◆宅地建物取引士 渋谷 晃（施設管理課）
- ◆会計指導員 米村 啓司（事務局長） 新田 志都香（総務課）
- ◆ドローン検定3級 伊津野 徹（換地・測量課） 中村 行伸（換地・測量課） 犬童 厚仁（換地・測量課）

●本会の資格取得一覧

（令和3年5月現在）

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
技術士	2	第四種公害防止管理者	1	ポンプ施設管理技術者2級	6
技術士補	12	第三種電気主任技術者	1	ボイラー技士	2
農業土木技術管理士	30	第一種電気工事士	2	土地改良専門技術者	1
1級土木施工管理技士	15	第二種電気工事士	2	フォークリフト免許	2
2級土木施工管理技士	8	会計指導員	7	農業農村地理情報 システム技士	5
測量士	12	ガス溶接技能者	2	第1種衛生管理者免許	1
測量士補	43	上級集落排水計画設計士	1	第2種衛生管理者免許	1
土地改良換地士	11	集落排水計画設計士	3	ビジネス実務法務検定3級	1
ダム管理主任技術者	2	地籍主任調査員	2	日商簿記2級	1
2級管工事施工管理技士	1	移動式クレーン運転免許	4	日商簿記3級	2
畑地かんがい技士	5	農業水利施設総合診断士	2	そろばん2級	2
浄化槽技術管理者	6	農業災害復旧専門技術者	16	ワープロ検定2級	3
浄化槽管理士	7	2級小型船舶操縦士	3	床上操作式クレーン運転技能講習	1
浄化槽設備士	2	VEリーダー	1	玉掛け技能講習	1
2種下水道検定者	1	2級整備士	1	ドローン検定3級	3
宅地建物取引士	1	乙種4類危険物取扱者	15		
酸素欠乏等危険作業主任者	1	ポンプ施設管理技術者1級	2		

熊本県ため池サポートセンターについて

近年、地震や豪雨などの大規模災害の発生により農業用ため池が被災し、甚大な被害が発生する事態が多発しております。

このため、令和元年に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が施行され、令和2年には「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行されるなど、ため池の適正な管理及び保全や防災工事等の緊急的な対応が求められています。

このことを踏まえ、熊本県では、ため池の調査や防災工事、適切な日常管理を行うための協議会を設立予定。本会は、ため池管理者からの相談などに専門スタッフが迅速に対応する「熊本県ため池サポートセンター」を創設。令和3年5月31日に開所式を行い、6月1日より本格的に始動します。

熊本県からの情報提供 令和3年度熊本県予算について

令和3年（2021年）5月 熊本県農村計画課

令和3年度 県当初予算の編成の基本的な考え方

令和3年度は、熊本地震からの創造的復興に加え、新型コロナウイルス感染症への対応及び令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興への取組みと併せて、国土強靱化への対応、更には、熊本の更なる発展につながる必要不可欠な取組みに重点化を図ります。

令和3年度 農業農村整備事業の予算編成

国の農業農村整備事業予算については、令和2年度補正と令和3年度当初を合わせ、**6,300億円**となり、平成22年度の大幅削減前の水準5,772億円を上回りました（下図参照）。

年度	補正	農山漁村交付金	補助金	当額
平成21年度			5,772	当初 5,772億円
平成22年度	H21補正 153		2,129	当初 2,981億円
令和2年度	R1補正 1,542		3,775	当初 4,973億円
令和3年度	R2補正 1,855		3,333	当初 4,446億円

※R2補正 (1,855億円) + R3当初 (4,446億円) = 6,300億円

農村振興局の目標

- 組織の一員であることを意識
- 県民（農家）が主体
- 情報共有
- タイムマネジメントを意識
- 凡事徹底

農村地域の国土強靱化

- 排水機場の計画的な更新
- ため池の防災減災対策
- 海岸保全施設の耐震化

農業競争力の強化

- 農地集積の加速化
- ほ場の基盤整備
- スマート農業の推進

【2021年の一挙】

緑

- 「グリーン・ユビ・キ」という復興の哲学を踏まえ「緑の流域治水」の具現化
- 地方創生に向けて新たな「緑」を創りだす

持続可能な農村づくり

- スーパー中山間地域の創生
- 鳥獣被害防止対策とジビエの利活用
- 日本型直接支払制度の推進

令和3年度農村振興局スローガン

稼げる農業と緑（水土里）豊かな農村の実現

大規模災害からの復旧・復興

- 田んぼダム（緑の流域治水関連）の推進
- 令和2年7月豪雨からの復旧・復興
- 熊本地震からの復旧・復興

「農業DXの取組み推進」

- 農業者の高齢化や労働力不足に対処しつつ、熊本農業を成長させていくためのデジタル技術を活用する農業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進。

SDGs GOALS

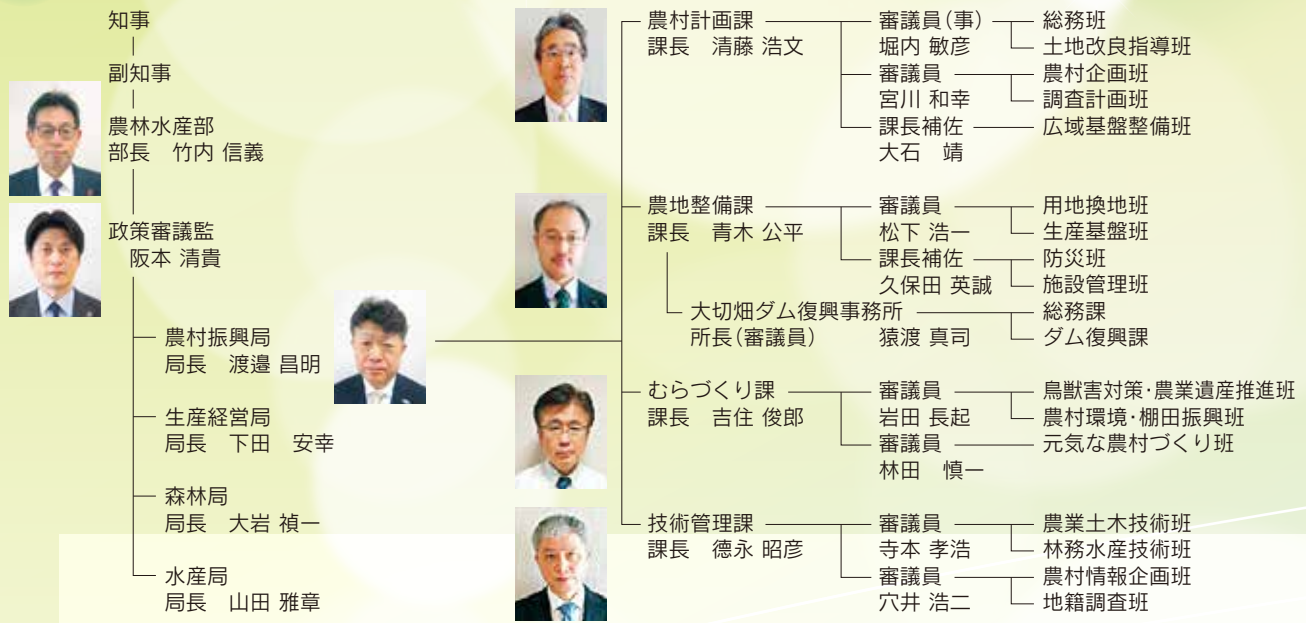
※「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、農村振興局に関連する13の項目について推進。

一方、県予算についても、令和2年度補正と令和3年度当初で169億円を措置し、必要額を確保できました。

令和3年度は、『稼げる農業と緑（水土里）豊かな農村の実現』に向け、「農業競争力の強化」、「農村地域の国土強靱化」、「持続可能な農村づくり」、「大規模災害からの復旧・復興」を4つの柱に掲げ、取り組みを加速化させます。

（左図-令和3年度農村振興局スローガン）

令和3年度 熊本県農林水産部の新体制



●広域本部・地域振興局

所属名	職名	氏名
県央広域本部	広域本部長	村上 徹
	副部長(宇城地域振興局長)	真田 由紀子
	副部長(上益城地域振興局長)	石元 光弘
	農林部長	井上 克治
	農林部副部長	濱田 浩史
	農業普及・振興課長	杉谷 将洋
	農地整備課長	齊藤 勉
宇城地域振興局	局長	真田 由紀子
	局次長	大谷 俊郎
	農林部長	林田 稔
	農林部副部長	島川 達也
	農業普及・振興課長	北園 邦弥
	農地整備課長	今川 晃
上益城地域振興局	局長	石元 光弘
	局次長	三角 登志美
	農林部長	永田 稔
	農林部副部長	伊藤 昭
	農業普及・振興課長	大王 龍一
	農地整備課長	橋本 修一
県北広域本部	広域本部長	原山 明博
	副本部長(玉名地域振興局長)	無田 英昭
	副本部長(鹿本地域振興局長)	吉野 昇治
	副本部長(阿蘇地域振興局長)	浦田 隆司
	農林水産部長	伊藤 寿朗
	農林水産部副部長	野田 明
	農業普及・振興課長	大村 誠
	農地整備課長	田上 良太
	菊池台地土地改良課長	園村 道明
	局長	無田 英昭
玉名地域振興局	局次長	坂口 啓介
	農林部長	安武 秀貴
	農林部副部長	多田 隈親亮
	農業普及・振興課長	内柴 恵嗣
	農地整備課長	馬場 秀浩

所属名	職名	氏名
鹿本地域振興局	局長	吉野 昇治
	局次長	嘉永 秀俊
	農林部長	山本 剛士
	農林部副部長	窪田 裕紀
	農業普及・振興課長	渡邊 充
	農地整備課長	堀 哲也
	阿蘇地域振興局	局長
局次長		早田 吉秀
農林部長		笠田 雄司
農林部副部長		山瀬 佳規
農業普及・振興課長		猪野 敬一郎
農地整備課長		村井 利道
県南広域本部	広域本部長	田村 真一
	副本部長(芦北地域振興局長)	江藤 公俊
	副本部長(球磨地域振興局長)	竹田 尚史
	総務部長	馬場 幸一
	農林水産部長	徳永 浩美
	農林水産部副部長	辻 龍一
	農業普及・振興課長	三宅 宏人
農地整備課長	福山 昌二	
芦北地域振興局	局長	江藤 公俊
	局次長	浦田 武史
	農林部長	山部 峰人
	農林部副部長	岩本 啓二
	農業普及・振興課長	山田 茂喜
	農地整備課長	村田 隆慰
球磨地域振興局	局長	竹田 尚史
	局次長	田口 雄一
	農林部長	野入 正憲
	農林部副部長	内尾 栄利
	農業普及・振興課長	作田 一
	農地整備課長	榊野 栄次
天草広域本部	局長	川辺川土地改良課長 岩村 豊作
	広域本部長	松岡 正之
	総務部長	中村 誠希
	農林水産部長	渡辺 裕倫
	農林水産部副部長	濱口 佳久
	農業普及・振興課長	木庭 正光
農地整備課長	山本 弘規	

令和3年度 熊本県土地改良事業団体連合会 幹部職員、新規採用職員のご紹介

●令和3年度 幹部職員及び新規採用職員辞令交付式



【上段左から】

田上 佳史[全国土地改良事業団体連合会 出向]

井川 美代[換地・測量課換地係 主任] (再雇用)

川重 洋志[城南総合支所長]

古澤 高美[換地・測量課長]

毛利 朋則[会員支援課長]

久保 洋司[施設管理課長]

吉岡 康成[農地・農村整備課長]

林田 義之[総務課長]

西 彩[菊池・阿蘇支所長]

佐藤 裕治[玉名・鹿本支所長]

中村 博文[天草支所長]

【下段左から】

河地 芳郎[事業部長]

松岡 あかり[新規採用職員]

松岡 優奈[新規採用職員]

久保田 修[常務理事]

白川 聡汰[新規採用職員]

富嶋 大貴[新規採用職員]

米村 啓司[事務局長]

●本年度の新規採用職員を紹介します。どうぞよろしくお祈いします!!

総務部 会員支援課 会員支援係 ^{まつおか}松岡 ^{ゆうな}優奈 (熊本学園大学 社会福祉学部 ライフ・ウェルネス学科卒)



大学では、主に健康や運動・スポーツ、教育について学んできました。

また、幼いころから続けているバスケットボールで培ってきた根性やチームワークを今後、仕事で発揮できるように頑張りたいと思います。

現在は、入会したばかりで分からないことだらけではありますが、一日でも早く先輩職員の方々のようになれるよう日々努力し、様々のことに興味を持って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

総務部 会員支援課 水土里情報係 ^{まつおか}松岡 ^{あかり}あかり (九州測量専門学校 測量情報科卒)



専門学校では、高校が普通科だったこともあり測量の知識が全くない状態からのスタートでしたが、基礎的な測量を中心にCADやGIS、測量機器を用いた実習、図面の作製等を通して多くの知識を身につけました。学校生活で学んだ、分からないことや疑問に思ったことを質問しメモすること、物事を段階的に確認する大切さ、計画的に物事を進めていく姿勢を本会でも生かしていこうと思っています。

まだ入会したばかりで分からないことも多く仕事内容も把握できていない状態で先輩方にはたくさん迷惑をおかけすると思いますが、一日でも早く本会に貢献できるよう分からないことは積極的に質問したいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

事業部 農地・農村整備課 農村整備係 ^{しらかわ}白川 ^{そうた}聡汰 (熊本県立熊本農業高等学校 農業土木科卒)



高校では、農業土木設計、農業土木施工などの農業土木の基本を学びました。また、資格取得に向けた勉強を行い測量士補、二級土木施工管理技術検定(学科)などの資格を一度の受験で合格することができました。本会でも専門的な知識を身につけ様々な資格を取得したいと思います。

新人研修では、本会が行っている事業などを簡単にわかりやすく教えていただきました。

まだ入会したばかりで分からないことが多く、先輩方にはたくさん迷惑をかけると思いますが、積極的に質問して一つ一つをしっかりと理解して身につけたいです。一日でも早く本会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

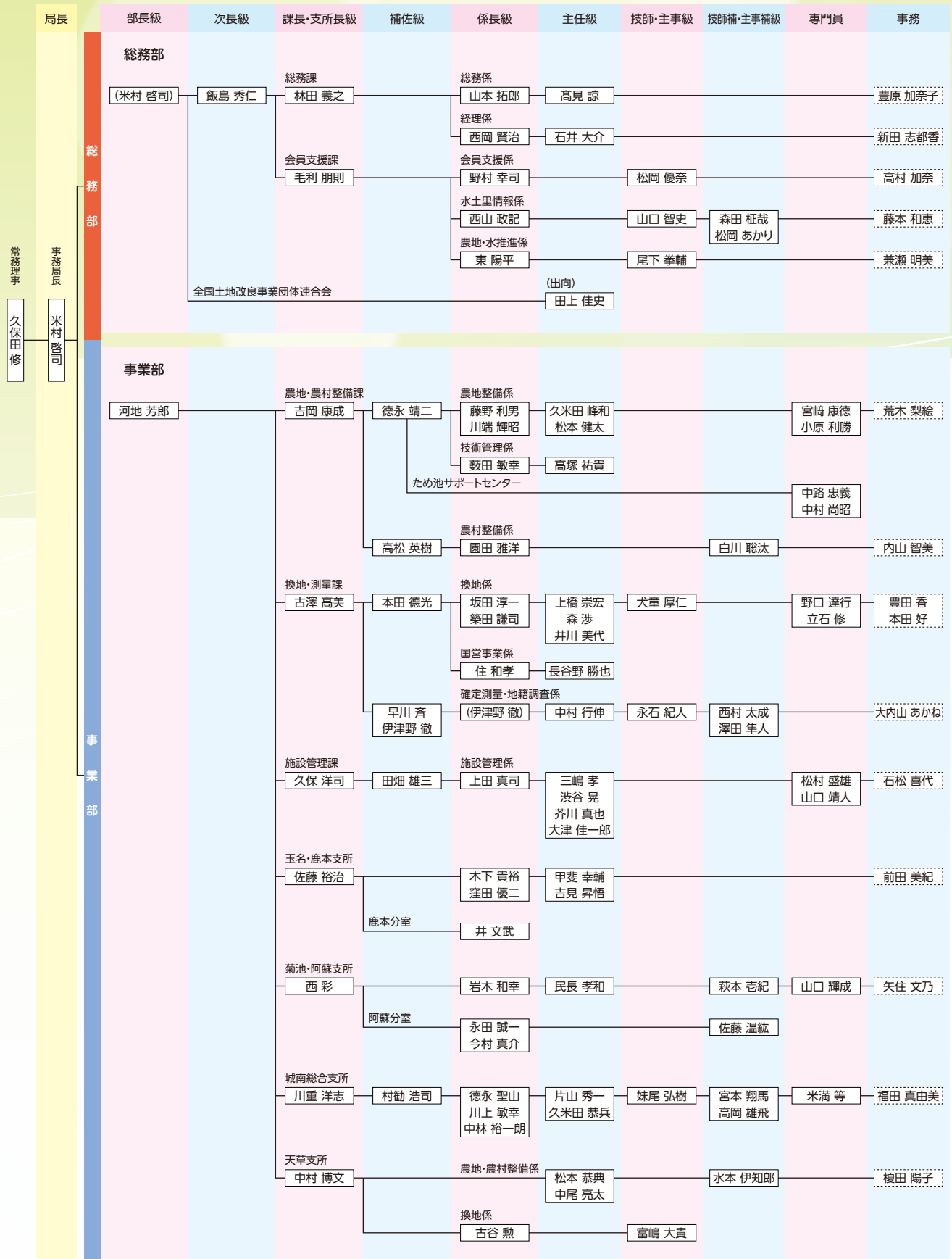
事業部 天草支所 換地係 ^{とみしま}富嶋 ^{だいき}大貴 (熊本学園大学 商学部 商学科卒)



大学では、流通・マーケティング、金融、簿記会計について幅広く学んできました。

また本会では、全く知識がないゼロからのスタートですが大学生生活で頑張ってきた計画的に一つのことを進めていくことや相手の話を聞く傾聴力を仕事に生かしていきたいと思っています。まだわからないことばかりで勉強の毎日ですが、今の自分にできることはないかを考えながら全力で取り組んでいこうと思っています。しばらくは慣れないことも多く、迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願いします。

令和3年度 熊本県土地改良事業団体連合会 職員配置表 (令和3年5月現在)



非補助農業基盤整備資金のご案内

1 非補助農業基盤整備資金とは？

土地改良区等がかんがい排水やほ場整備、客土などの事業を行う際に、日本政策金融公庫等から農家負担の軽減を目的に低利で融資される資金です。

なお、国の補助対象ではない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2 特徴

- 1 低利・長期で、必要な金額のほぼ100%を借りることができます。
- 2 ほとんどの土地改良事業について、必要な時にいつでも借りることができます。
- 3 小規模な事業でも、借入金額が50万円以上であれば借りることができます。

3 融資条件

- 貸付対象者：土地改良区、土地改良区連合（事業主体となる場合に限る）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方
 - 償還期間：25年以内（うち据置期間10年以内）
 - 金利：非補助融資0.30%（令和3年4月19日現在）
- ※最新の金利は、最寄りの日本政策金融公庫にご確認ください。

日本政策金融公庫 熊本支店
TEL：096-353-3104

土地改良法律相談のご案内

問題解決をサポートします！

近年、土地改良事業を取り巻く環境は、施設の多様化や農村地域の都市化・混住化により諸問題等が複雑化・高度化してきています。こうしたことから、本会では土地改良相談等事業により法律に関する相談業務を弁護士に委嘱し、会員の皆様の問題解決に努めておりますので、問題等がございましたらご相談ください。なお、相談内容についての実例を、ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：会員支援課 会員支援係 電話：096-348-8802（直通）

複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内

土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。このことから、本会の職員（会計指導員）が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等の円滑な複式簿記導入を支援しています。

また、財務管理に関するサポートとして本会職員（会計指導員）が顧問税理士と協力し電話やメールによるご相談にお答え致します。詳細は、ホームページに記載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：総務課 経理係 電話：096-348-8801（直通）



第43回 全国土地改良大会のお知らせ

- 全国土地改良大会群馬大会が開催されます。

昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、1年延期されておりました、第43回全国土地改良大会群馬大会（全国土地改良事業団体連合会、群馬県土地改良事業団体連合会主催）が、2021年10月6日（水）群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」を会場に開催されます。



新しい農業農村を目指して

大地 Vol.71

令和3年新年度号

- 発行所 / 水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
- 編集発行人 / 荒木泰臣



熊本市北区
龍田陳内3丁目15番1号

